

2006 年度

科目名	対象学科・学年 文学部日文2回生 教育教福2回生 文学部英米2回生 人間人社2回生 文学部教福2回生 文学部文財2回生 文学部コミ2回生	担当者 尾谷 雅彦
社会教育演習		
授業テーマ 生涯学習社会における社会教育主事の役割を学ぶ		
授業の概要と目標 生涯学習の推進役である専門職員のひとつ社会教育主事の役割を、具体的な事業例を知ることと実際に事業を企画立案することによって理解してゆきます。講義形式、討議形式など適時混ぜながら進めます。また、ビデオやパワーポイントなども使っている限りわかりやすく進めます。2回の講義を土曜日に振り替えて、実際の社会教育主事の現場を見学します。 多くの人たちが学習機会を求めています。このニーズに答えなければならない専門職員の仕事を理解することによって、現代社会の問題も考えたいと思います。		
評価方法 席率と課題に対するレポートで評価します。配点は100点満点で出席率2／3以上出席で50点、レポート50点。ただし出席率2／3以下の場合は0点		
テキスト 必要に応じてプリント配布	著者	出版社
参考書 社会教育計画の理論と実践 学習プログラムの技法	著者 木全力夫・則武辰夫編 岡本包治・坂本登ほか著	出版社 東洋館出版社 実務教育出版
授業スケジュール・内容 1. 生涯学習と社会教育 2. 社会教育の意義① 3. 社会教育の意義② 4. 社会教育の指導者 5. 社会教育の施設 6. 社会教育の内容 7. 社会教育の方法・形態 8. 学習プログラムについて① 9. 学習プログラムについて② 10. 学習プログラムについて③ 11. 学習プログラムについて④ 12. 実践 企画立案から展開① 13. 実践 企画立案から展開② 14. 学外講義 15. 学外講義		
生涯学習と社会教育そして社会教育主事について 社会教育の考え方 社会教育の諸活動 社会教育の指導者と役割 社会教育施設について 社会教育の課題解決 社会教育の技法について 学習プログラムの計画、編成の流れ 学習プログラム編成の流れ 学習プログラム編成の流れ 学習プログラム編成の展開例をみる。 実際に学習プログラムを組んでみる。 実際に企画立案したものの発表 社会教育施設の見学 社会教育施設の見学		